

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 造血幹細胞運命における新規予知因子の解明
2. 研究代表者： 石津 綾子（東京女子医科大学 医学部 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、一生涯の血球産生に必要な造血幹細胞の維持機構を発生期、成人期、老年期に徹底的に解析し、造血幹細胞の運命決定因子と方法を解明することを目的とする。フェーズ1では当初計画に沿ってThrombopoietinによる造血幹細胞制御機構を着実に明らかにしつつあり、予想外の興味深い展開が示された内容もあり、今後が期待できる。フェーズ2では、フェーズ1にて生じた課題を解明するための研究計画が立てられており、堅実に新規データを積み重ねることが期待される。より多角的な視点を取り入れることで、より幅を広げた研究に発展し、破壊的イノベーションに繋がる成果が生じる可能性に期待する。

以上